

■ 児童センターまつり、3年ぶりに子どもたちの歓声響く



2月18日、児童センターまつりが児童センター（子どもセンターつばさ内）で開催され、約50人の小学生や幼児が参加しました。

子ども同士が交流を深め、冬の日を大いに楽しんでもらおうと、毎年この時期に開催されています。

コロナ禍のため3年ぶりの開催と

なり、感染防止対策のため内容を縮少し、ゲーム・抽選会などを体育室で、フリーマーケットを玄関で行いました。

会場内では、射的やお宝釣り、お楽しみ抽選会など、子どもたちは目を輝かせながら会場内を駆け回っていました。

■ 炭鉱物語の上映朗読会を開催

2月19日、市立図書館で炭鉱物語の小説を朗読する映像作品「炭鉄港を聴く～とっておきの炭鉱のはなし～」の上映朗読会が開かれ、市内外から約70人が参加しました。

この作品は、芦別ペンクラブが発行した「芦別文芸」に寄せられたコラムや小説を、「声のボランティア

かりんとう」の富樫百合子さんらが朗読を担当し、富山美一さん（フガク堂メディア工房代表）がドローンで空撮した芦別の炭鉱遺産動画に、昔の写真を交え、3団体が協力して制作した映像作品です。

参加者は、昔の炭鉱や生活風景を懐かしみながら観賞しました。



■ 芦高生が芦別市地方創生塾の活動報告会を行う



2月27日、市役所3階第1会議室で芦別高校の生徒4人が芦別市地方創生塾の活動報告会を行いました。

高校生が地域と関わることで地元への思いを高め、地域の担い手となる人材を育てることを目的としているものです。

昨年6月と10月に道の駅で開催し

た高校生カフェの報告では、1回目では調理に時間がかかり混雑したが2回目では、調理から接客への連携が上手くできたことなどを報告。

また、2度の高校生カフェの収益91,800円を地域活動やまちづくりに役立たせてもらいたいと、市に寄付をしました。

■ 空知森林管理署と森林整備推進協定を締結

3月1日、市と空知森林管理署は「芦別市^{おちのんべ}落辺地域森林整備推進協定」の調印式を行いました。

協定は、民有林と国有林が連携した効率的な森林整備の推進を目指し市町村などと結ばれるもので、空知管内では初めての締結となります。

野花南町落辺地域の市有林と国有

林において、作業道の共有や間伐・造林を市と森林管理署が一体となって進められます。

締結式では、荻原市長と同署の武森美紀男署長が協定書に押印し、荻原市長は「国と連携して効率的な森林整備を進められることを、ありがとうございます」と述べていました。

